

# 公立甲賀病院群臨床研修プログラム

公立甲賀病院

Kohka Public Hospital

〒528-0074

滋賀県甲賀市水口町松尾 1256

TEL0748-62-0234 FAX0748-63-0588

URL <http://kohka-hp.or.jp/>

## 病院の理念と使命

### (理 念)

患者の権利を尊重し、医の倫理と質の向上に努め、地域医療の発展と充実を目指し全人的医療を実践する。

### (使 命)

1. 患者とのふれあいを大切にする患者のためのチーム医療を実践し、質の高い医療を提供する。
2. 積極的な救急医療を実践する。
3. 予防・早期発見・早期治療を目指す検診業務を充実する。
4. 保健・福祉の充実に努め、地域住民の健康づくりに貢献する。
5. 医療人としての人材育成に努める。

## 患者さんの権利

私たちは、患者さんの権利を尊重する医療の実現に努めます。

1. 適切で質の良い医療を受ける権利
2. 知る権利と十分な説明を受ける権利
3. 自分で選び、自分で決める権利
4. 人格が尊重され、プライバシーが保護される権利
5. 他の医師等の意見（セカンドオピニオン）を求める権利

## 医の倫理要綱

1. 私たちは、生命の尊重と人間愛とを基本とし、医療者として常に専門的な知識と技術の習得に努めます。
2. 私たちは、すべての医療行為において、患者の権利を尊重し、互いに協力して適切な医療を提供します。
3. 私たちは、医療を通じて社会の発展に尽くすとともに、法に従い、社会秩序の保持に努めます。

## ～ 目 次 ～

- 1 プログラムの名称
- 2 プログラムの目的と特徴
- 3 プログラム指導者と施設の概要
  - ① プログラム責任者
  - ② 参加施設とその概要
  - ③ 指導医リストおよび指導医数
- 4 プログラムの管理運営体制
- 5 定員
- 6 教育課程
- 7 研修医評価
- 8 プログラム修了の認定
- 9 プログラム終了後のコース
- 10 研修医の処遇
- 11 出願手続きと資料請求先

# 公立甲賀病院群臨床研修プログラム

## 1 プログラムの名称：公立甲賀病院群臨床研修プログラム

基幹型臨床研修病院：公立甲賀病院  
協力型臨床研修病院：滋賀医科大学医学部附属病院  
一般社団法人水口病院  
研修協力施設：ケアセンターいぶき  
医療法人 真心会 野村産婦人科  
甲賀市立信楽中央病院  
甲賀保健所

## 2 プログラムの目的と特徴

本臨床研修プログラムでは、厚生労働省が定める初期臨床研修到達目標（以下「初期臨床研修到達目標」という。）を達成するため、甲賀二次医療圏の中核病院である公立甲賀病院を基幹型臨床研修病院とした病院群を構成し、初期臨床研修を実施する。

これらの地域に密着した病院群の特徴を生かし、地域の保健・医療・福祉（介護）への関わりを通して、総合的な臨床能力を有し、かつ、医の倫理・生命の倫理を尊重し、ヒューマニズムに基づいた全人的な医療を担える医師の育成を目指す。

### 1. 研修プログラムの特徴

- 1) 基幹型の公立甲賀病院では、プライマリ・ケアを重視し、基本研修科目および 必修科目（精神科及び地域医療の一部を除く）、選択専門科目を研修する。
  - ①基本研修科目および必修科目では、初期臨床研修到達目標の達成を目的とし、各科目の臨床研修プログラムに従い研修を行う。
  - ②各科目研修は、高度医療機器を用いた検査、診断および専門医療について積極的に参加できるプログラムとする。
  - ③地域中核病院で行われている医療を通じ、Evidence Based Medicine の重要性を学び実践する。
  - ④チーム医療の重要性を理解し、他科の医師や医療従事者と協調しながら広い視野を持って医師の指導・協力のもとに研修を行う。
  - ⑤患者の紹介・逆紹介、開放型病床での共同指導、地域臨床談話会での症例発表等、地域の医師との連携ならびに高度先進医療を担う大学病院等との連携の重要性を理解し実践する。
  - ⑥救急研修は、全診療科の1次～2次救急医療（3次救急の一部を含む）に対応するため、担当指導医をはじめとして各診療科の医師の指導・協力のもとに行う。
  - ⑦地域医療研修では、研修協力施設と連携し、地域の保健・医療・福祉（介護）との連携を図りながら予防医療、在宅医療（介護）、施設介護（社会福祉施設、介護老人保険施設・介護療養型医療施設）、在宅緩和・終末期医療等について学ぶ。
  - ⑧病理部門の研修は、1年次2年次を通し、ローテート科と平行して行う。  
指導医のもとに、病理解剖、病理組織診断、CPCに参加することにより、臨床病理学の基礎を身につける。2～3例の症例のまとめ、CPCでの発表を経験する。
  - ⑨選択研修は11ヶ月間とし、将来専門とする診療科を中心に、また関連の診療科で

の研修を目的としたもので、より専門分野の知識と技術の習得をする。

## 2) 協力型病院

①滋賀医科大学医学部附属病院

②水口病院は精神科の専門病院として長い歴史と実績があり、近年は精神科の機能分化に対応するため、施設や人員体制の整備を行っている。

ここでは、精神科救急を含む幅広い精神科疾患のプライマリ・ケアや精神科医に必要な法律等を学ぶ。

## 3) 研修協力施設

①ケアセンターいぶきは、医療の過疎地における無床の診療所として、近隣の病院との機能分担を図りながら、外来医療、在宅医療に力を注いでいる。施設内にリハビリ施設、パワーリハビリ、デイケア、老人保健施設、ショートステイを併設し医療と福祉を一体化した施設である。

②野村産婦人科は、「最新の医療環境」「心の触れ合い」を大切にして、「真心のこもった医療」を家庭的な雰囲気の中で、安全で快適な生活を送れる産婦人科としての施設である。

ここでは、分娩を中心とした研修を行うが、年間の分娩件数が400件を超えており、十分な症例を経験できる。

③甲賀市立信楽中央病院

④甲賀保健所

## 3 プログラムの指導者と施設の概要

①プログラム責任者：公立甲賀病院 副院長 川嶋 剛史

②プログラム参加施設とその概要

### (1) 基幹型病院

名称等	公立甲賀病院		
	〒528-0074 滋賀県甲賀市水口町松尾1256 電話 0748-62-0234 FAX 0748-63-0588 ホームページ <a href="http://www.kohka-hp.or.jp/">http://www.kohka-hp.or.jp/</a>		
開設者	地方独立行政法人公立甲賀病院	設立年月日	昭和14年6月1日
院長	辻川 知之		
病院の沿革・特徴	公立甲賀病院は、昭和14年産業組合病院として設立され、昭和35年に甲賀郡7か町の組合立病院、平成16年10月1日に町村合併により湖南市および甲賀市の2市による組合立病院となり、平成31年4月1からは地方独立行政法人公立甲賀病院となりました。 甲賀地域の中核病院として、「患者の権利を尊重し、医の倫理と質の向上に努め、地域医療の発展と充実を目指し全人的医療を実践する。」を理念に掲げ医療を実施しています。保健・医療・福祉機関との連携を密に、高度医療・救急医療・疾病予防・健康促進活動ならびに在宅医療（介護）など、充実した専門の医療人、最新の医療機器で、迅速かつ的確な診断・治療をめざし、地域に密着		

	したより幅広い医療を提供しています。
診療科目	内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、人工透析内科、血液内科、内分泌代謝内科、精神科、小児科、整形外科、リウマチ科、麻酔科、外科、心臓血管外科、呼吸器外科、消化器外科、こう門科、乳腺外科、脳神経外科、泌尿器科、眼科、産婦人科、耳鼻いんこう科、皮膚科、形成外科、放射線科、リハビリテーション科、病理診断科、歯科、矯正歯科、歯科口腔外科
病床数	413床（一般409床、感染病棟4床）
各医学会の認定状況	日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設、日本血液学会認定医研修施設、日本小児科学会認定医制度研修施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本外科学会認定医制度修練施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本乳癌学会認定医専門医制度研修施設、日本整形外科学会認定医制度研修施設、日本脳神経外科学会専門医認定医制度指定訓練施設、日本泌尿器科学会専門医教育施設、日本眼科学会専門医制度研修施設、日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設、日本産婦人科学会専門医制度卒業研修指導施設、日本プライマリ・ケア学会認定医研修施設、日本病理学会登録施設、日本透析医学会認定教育関連施設、歯科臨床研修指定病院
関連施設	甲賀看護専門学校（3年課程）、公立甲賀病院訪問看護ステーション、公立甲賀病院組合居宅介護支援事業所、居宅サービス事業所、介護療養型医療施設、院内学級（わかば学級水口小学校分校）（あすなろ学級水口中学校分校）、院内保育所

## (2) 協力型病院

名称等	滋賀医科大学医学部附属病院		
	〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町 電話 077-548-2111 ホームページ <a href="https://www.shiga-med.ac.jp/hospital/">https://www.shiga-med.ac.jp/hospital/</a>		
開設者	滋賀医科大学医学部附属病院	開設年月日	昭和53年4月1日
院長	田中 俊宏		
病院の沿革・特徴	滋賀医科大学医学部附属病院は、昭和53年に開院し、平成7年より特定機能病院として歴史を重ねてまいりました。大学の理念が「地域に支えられ、地域に貢献し、世界に羽ばたく大学として、医学・看護学の発展と人類の健康増進に寄与する。」であり、その附属病院としての本院が目指すべきところは、医師・看護師などの、良き医療人の育成と、地域医療を担うことです。本院は、高度な医療を提供・評価・開発・研修することが求められる特定機能病院の役割を果たすとともに、地域医療にも貢献しています。		
診療科目	循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、血液内科、糖尿病内分泌内科、腎臓内科、脳神経内科、腫瘍内科、小児科、精神科、皮膚科、消化器外科、乳腺・一般外科、形成外科、心臓血管外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、母子診療科、女性診療科、泌尿器科、眼科、麻酔科、ペインクリニック科、放射線科、歯科、口腔外科、リハビリテーション科、臨床遺伝相談科、		

	病理診断科、救急科
病床数	612床
各医学会の認定状況	<a href="https://www.shiga-med.ac.jp/hospital/">https://www.shiga-med.ac.jp/hospital/</a>
関連施設	<a href="https://www.shiga-med.ac.jp/hospital/">https://www.shiga-med.ac.jp/hospital/</a>

名称等	一般社団法人 水口病院		
	〒528-0031 滋賀県甲賀市水口町本町2丁目2-43 電話 0748-62-1212 FAX 0748-62-1215 ホームページ <a href="http://www.minakuchi-hp.or.jp/">http://www.minakuchi-hp.or.jp/</a>		
開設者	一般社団法人水口病院	開設年月日	昭和24年4月16日
院長	青木治亮		
病院の沿革・特徴	<p>当院は、江戸時代の水口藩医の後に、明治41年に現在のような病院形態となり、地域の精神科医療を担ってきた。</p> <p>総合的な調和のとれた精神科医療を目指しており、県の精神科救急システムへも協調体制を整えるとともに、温かい心のかよった医療を心がけています。病床数は407床あり精神科の機能分化に充分対応しうるよう力をいれています。さらに、多様なリハビリテーションを行うための精神科作業療法施設とデイ・ケアを持ち、精神科専門の外来として草津駅西口駅近くに診療所を設けている。精神障害者地域生活支援センターと精神障害者生活訓練施設を併設し地域精神医療にも力を入れています。</p> <p>また、高齢化社会に対応すべく、介護老人保健施設「スキナヴィラ水口」100床を併設し、認知症治療病棟、関連施設の指定介護老人福祉施設「兆生園」50床、認知症疾患医療センターの機能と合わせ連携して取り組んでいます。</p>		
診療科目	精神科、老年精神科、心療内科、内科		
病床数	407床（精神）		
各医学会の認定状況	精神科臨床研修指定病院 日本精神神経学会認定施設 日本老年精神医学会認定施設		
関連施設	介護老人保健施設スキナヴィラ水口、認知症疾患医療センター、診療所水口クリニック、指定介護老人福祉施設兆生園、院内保育所 精神障害者地域生活支援センター、精神障害者生活訓練施設 介護老人保健施設スキナヴィラ甲賀、精神科グループホーム		

### (3) 研修協力施設

名称等	地域包括ケアセンターいぶき		
	〒521-0314 滋賀県米原市春照58-1 電話 0749-58-1222 FAX0749-58-8036		

	ホム°-ジ <a href="http://www.cc-ibuki.jp/">http://www.cc-ibuki.jp/</a>		
開設者	(社) 地域医療振興協会	開設年月日	平成 18 年 4 月
センター長	畑野 秀樹		
病院の沿革・特徴	<p>当センターは、米原市から管理委託を受け、平成 18 年 4 月から運営を始めました。地域に根差した医療(地域医療・在宅医療)、家族ぐるみの医療(家庭医療)、患者さんを全人的に診る医療(総合医療・全人的医療)を目指すとともに、地域医療を目指す若い医師を育成し、全国にプライマリケアを実践できる医師を増やすことを目標としています。</p> <p>また、介護老人保健施設では、家庭的な雰囲気を作り、あくまでも「家に帰すこと」を目的として、リハビリテーションに力を注ぎ、自宅に帰っても安心して暮らせるよう、往診、訪問看護、さらには社会福祉協議会等他事業者との連携によりフォローできる体制を整えています。</p>		
診療科目	内科 消化器科 循環器科 小児科 リハビリテーション科		
研修期間	必修 1 か月及び選択期間		
関連施設	診療所 5 か所 訪問看護ステーション 居宅介護支援事業所 デイケア(通所リハビリ) 老人保健施設		

名称等	医療法人 真心会 野村産婦人科		
	〒 520-3233 滋賀県湖南市柑子袋 589 番地 1 電話 0748-72-6633 FAX 0748-72-6636 ホム°-ジ <a href="http://www.nomura-magokoro-med.or.jp">http://www.nomura-magokoro-med.or.jp</a>		
研修実施責任者	院長 野村 哲哉		
施設の特徴	<p>自然で安心なお産を基本に最新の医療環境、心のふれあいを大切にし、真心のこもった医療を志しており、院内はイメージカラーのピンクとオレンジでコーディネートし穏やか温もり漂うイメージにし、畳の個室、ファミリー用の特別室、プライバシーを配慮した相部屋、フリースタイルの分娩が行なえる分娩室、フレンチ、イタリアンのシェフによる夕食会の開催など、アメニティーを迫及した設備や環境。また県内では、珍しく敷地内に助産院を併設し、アットホームでソフトな空間の中で、自然なお産を希望する方に経験豊富な助産師がお産についての指導、相談をマンツーマンで行なっている。</p>		
病床数	19床		



研修の内容	産婦人科
研修期間	2週間 ～ 1ヶ月
関連施設	南草津野村病院、甲西まごころ助産院、南草津野村整形外科

名称等	甲賀市立信楽中央病院		
	〒529-1851 滋賀県甲賀市信楽町長野 473 電話 0748-82-0249 FAX0748-82-3060 ホームページ <a href="http://www.city.koka.lg.jp/sch/">http://www.city.koka.lg.jp/sch/</a>		
開設者	甲賀市	開設年月日	平成 16 年 10 月 1 日（合併により）
病院長	中島 恭二		
病院の沿革・特徴	<p>当院は、信楽高原の豊かな自然に恵まれた歴史と伝統ある陶器のまち甲賀市信楽町の中心に位置しています。</p> <p>当院は、国保診療診療施設として、また地域医療の拠点病院として地域住民の健康・笑顔を大切に、地域に根ざした『かかりつけ医』として一生涯の安心を約束できる質の高い医療サービスの提供・病院づくりを目指し、地域保健福祉との連携を行いながら住民福祉の向上に大きく貢献しています。</p> <p>また、山間へき地で高齢化率が高く医療の提供が少ない集落をフォローするために3ヶ所に出張診療所を開設し、眼の行き届いた、あたたかくて人間性を尊重した医療・看護にも努めています。</p>		
診療科目	内科 外科 小児科 循環器内科 整形外科 糖尿病内科 眼科		
研修期間	必修 1 か月及び選択期間		
関連施設	田代出張診療所 朝宮出張診療所 多羅尾出張診療所		

- ③指導医リストおよび指導医数  
年次報告を参照のこと

#### 4 プログラムの管理運営体制

- ・各科指導責任者は、前年度の指導、研修の評価を行い、それに基づいて当年度の研修プログラム計画をたて、プログラム委員会に提出する。プログラム委員会で調整された研修プログラムは、研修管理委員会に提出し、承認を得るとともに、研修希望者に配布する。

#### 5 定員

区 分	公募によるもの
1 年次	5
2 年次	5
合 計	10

#### 6 教育課程

##### ①基本研修科目

- ・基本研修科目は、内科 24 週、救急医療（麻酔科を含む）12 週とする。
- ・研修開始後の 1 週間は、オリエンテーション期間とし、病院の機構・規則、診療録や医療保険の基本、患者と医師の関係、病病・病診連携、臨床検査、画像診断、薬物療法、感染対策、医療安全対策など医師として必要な知識に関する研修を行う。

##### ②必修研修科目

- ・外科・小児科・精神科・産婦人科をそれぞれ 4 週の研修を必修とする。
- ・精神科は協力病院の水口病院で研修する。
- ・地域医療は、中小病院、診療所等の研修協力施設（ケアセンターいぶぎ、甲賀市立信楽中央病院）で 4 週の研修を行う。中小病院、診療所の役割について理解と実践するとともに、予防医療（成人病・老人健診、学校検診、予防接種、健康教室等）、在宅ケア（訪問診療、往診、訪問看護、在宅緩和ケア等）及び施設介護（介護療養型医療施設）等を経験する。

※内科、外科、小児科、産婦人科、精神科、救急、地域医療の必修分野には一般外来での研修（4 週間）を含むものとする。

##### ③選択研修

- ・選択研修は、将来専門とする診療科を中心に、また関連の診療科での研修を目的としたもので、より専門分野の知識と技術の習得をする。
- ・基本研修・必修研修以外の診療科又は基本研修・必修研修科目をさらに深く研修するための再履修も可能である。

\* 2年間の配置予定（例示）

1 年目		
内科 24 週	外科 8 週	放射線科、精神科、小児科、 救急をそれぞれ 4 週

  

2 年目	
産婦人科、地域医療、内科をそれぞれ 4 週、救急を 8 週	希望選択科 28 週（4 週毎に設定可能）

## ②研修内容と到達目標

- 初期臨床研修到達目標を達成するため、一般臨床医としての基本を研修するとともに、より専門分野の知識の吸収と技術の習得をする。  
臨床研修は、初期臨床研修到達目標に掲げる行動目標・経験目標ならびに各診療科の研修プログラムに従って行う。

## ③研修医の勤務時間

- 月曜日 ～ 金曜日（年末年始、祝日を除く。）  
午前8時30分から午後5時15分（状況に応じて勤務の延長あり。）  
カリキュラムの一環として、月3回程度の宿日直研修が加わる。

## ④教育に関する行事

- CPC（全研修医対象）：年1回を予定
- 研修医による救急症例の発表：週に2回
- その他各診療科にて症例検討会、抄読会、勉強会、合同カンファレンスが行われている。

## ⑤指導体制

- 各科の研修指導責任者および研修指導医が、研修医の指導・評価を行う。
- 各科における研修の総括は、各科の研修指導責任者が行う。

## 7 プログラム修了の認定

各研修医から申告される自己評価結果および指導医による評価結果に基づき、臨床研修管理委員会において初期臨床研修の終了を認定する。  
委員長（管理型病院の院長）は、研修修了者に対し「修了証書」を交付する。

## 8 研修医の処遇

別添募集要項を参照のこと

## 9. 出願手続きと資料請求先

別添募集要項を参照のこと

以上